



黒川 賢一
K's labo代表

1962年生まれ
K's labo, llc代表
<http://www.kurolabo.com>
慶應義塾大学 S F C キャリアリソースラボ研究員
慶應義塾大学財団法人SFCフォーラム研究員

元リクルートジェネラルマネージャー
・キャリア事業準備室立ち上げ
・キャリア事業開発室長

元経済産業省事業複数担当責任者
・経済産業省人材ニーズ調査責任者
・「若者自立・挑戦プラン」(通称ジョブカフェ)
大阪・岐阜・千葉の責任者
・交渉力人材のプログラム開発責任者
・足立区雇用特区第一号担当者

経済産業省「働き方改革」プロジェクト2014年～
・課長研修講師(大臣官房秘書課)
・経産省人材室アドバイザー
・経産省生産性改革プロジェクト推進者
・中小企業庁「地域中小企業人材バンク事業」有識者会議ボードメンバー

GCDF-Japanによる厚生労働大臣認定
キャリアコンサルタント認定更新資格
講師2019～

【経歴】

- 1988年 株式会社リクルート 入社
人材採用・育成などのHRM領域にかかわる企画営業(中小企業→地域企業→ベンチャー企業→大手企業)
前例のない企画提案で大型受注を次々と獲得、入社1年目からMVPを受賞
その後組織コンサルティング領域に仕事の幅をひろげ、人事制度設計、階層別研修、選抜リーダー研修、WBT(Web Based Testing)の開発に携わる
- 2002年 ゼネラルマネジャーとしてキャリア事業準備室 立ち上げ
特区第一号である足立区雇用特区受託運営責任者
- 2003年 経済産業省「人材ニーズ調査」「交渉力人材育成プログラム」を受託。開発責任者
内閣府・経済産業省「若者自立挑戦プラン」の企画責任者
ジョブカフェモデル事業「大阪」「岐阜」「千葉」の受託、企画立案運営。責任者
リクルート内の次世代リーダー向け選抜研修「アスピレーション塾」の講師
- 2007年 民間版ヤングハローワーク『就職Shop』の新規事業の立ち上げ
- 2009年 株式会社リクルートキャリアコンサルティングへ出向
大手企業の雇用調整のコンサルティングに従事した後、事業開発室を設立し室長に就任。『日本を企業から変えていく研究会』を立ち上げる。責任者
- 2013年 K's labo LLC.を設立、代表
同時に、慶應義塾大学SFC研究所キャリア・リソース・ラボの研究員
- 2014年 一般財団法人SFCフォーラム研究員

【研修・講演における特徴】

組織活性、人材開発を中心としたHRM領域全般に精通し基本的な基盤を大切にしながらも、顧客特性(規模・成長ステージ・業界・戦略・社風)を重視した支援を特徴とする。

2004年からキャリア領域に踏み込み、若年層の支援から始まり、近年においては中年期以降の組織内個人のキャリア自律支援を展開。

リクルート時代では、キャリア領域のコンサル、開発、運用の企業数は360社にわたり、2013年に独立してからも、21社の大手企業のキャリア開発ならびにHRMコンサル、戦略的営業革新推進プロジェクトを手掛ける。特にキャリア自律を、マネジメントとリーダーシップの中で展開することを重視し、組織開発(職場開発)を人事行動評価制度と連動させた活動を支援する。論文『企業内個人のキャリア自律の重要性は、マネジメント視点で捉えるべきである(新論)』『人的資本経営にセルフキャリアドックを活用する10の提言』は、各企業内で多くの方に読まれている。この視点でのキャリアとマネジメントの調整・統合させた独自研修も展開し、受講者からは大変好評を得ている。

＊キャリア研修講師(ファシリテーター)／キャリアアドバイザー組織構築並びにキャリアアドバイザー養成／キャリア検診(キャリアドック)構築／キャリア研修とマネジメント研修のシステム化／マネジメントベーシック・アドバンス／キャリアカウンセリング派遣／HRMコンサル／花田光世先生と共同制作したWeb Based Textの各企業仕様制作 等々

2021年から、1 on 1で採用されている「経験学習」を「職場開発」に取り入れた、日本初のサービスを展開。